

上村 淳之

現代の日本画壇 花鳥風月の第一人者。
鳥と共に暮らし観察して、デッサンに
励む日々。鳥への愛情豊かな目を感じ
させる温かで清々しい画風です。
作品の世界に憩う丹頂、今にも飛び立
とうとする雁、花と戯れるメジロ。
風雅な作風を紹介して下さい。
又、人間味溢れる人柄の淳之先生です。



春声 3号 (色紙)
自筆サイン・裏シール
(カワラヒワ)



マヒワ
銅版 画寸 26x27



葶とルリビタキ
リトグラフ 画寸 37x44



冬野 (ベニヒワ)
リトグラフ 画寸 40x52



瑠璃鳥 (オオルリ)
リトグラフ 画寸 33x45.5



鴛鴦 (オシドリ)
リトグラフ 画寸 40x52.5



晨雪 (ルリビタキ)
シルク 画寸 40x53



緑映 (キビタキとオオルリ)
シルク 画寸 23x63.5



花と鳥 8号 (ジョウビタキ)
自筆サイン 裏シール

憩
(アオアシシギ)
シルク
画寸
45x61



ユリカモメ



※この他にも作品は多数ありますので、企画展などご相談下さい。



オオバン